

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 事業名 | 朝日村の森林資源を有効活用したクラフト家具の作成・体験及びPR事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 朝日村 (99-4104) |
| 事業区分 | (6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 ウ 森林づくりと林業の振興 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 3,443,696 円 (うち支援金: 2,754,000 円) |

事業内容

- ・村産材家具PR
村産カラマツ材を使用した、日常家具20点を製作するとともに、県内外のイベントでPRを実施した。
- ・工房看板製作
朝日村産カラマツ材を加工し、共通ロゴ「朝日村つくりびと」と各工房の看板を作成
- ・工房紹介冊子発行
村内の20工房を紹介した冊子5,000部を発行し、全国の公立美術館等261カ所に配布・設置した
- ・「造形する手 朝日村ものづくり展」開催
村内20工房参加の合同展を開催。会期中に出張イベントやギャラリートークを実施。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

平成29・30年度に製作した家具等のPR及びイベントへの来場者に対して購入する際のポイント等の調査を行ったことで、消費者が希望する製品の開発材料となり、ブランド化へ向けたルール作り等の参考となった。
(目標① ③)

ワークショップや展覧会を通じて、参加者(来場者)の方に村産材の木工製品や他ジャンルの作家の作品を直接体感してもらい、朝日村の魅力の発信につながった。(目標②)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

29年度は大型、30年度は中型の家具を製作したが比較的高値のものが多いとの意見が寄せられていることから、小型の日用品(コースターやツールBOX等)の開発・製作も進めていく。

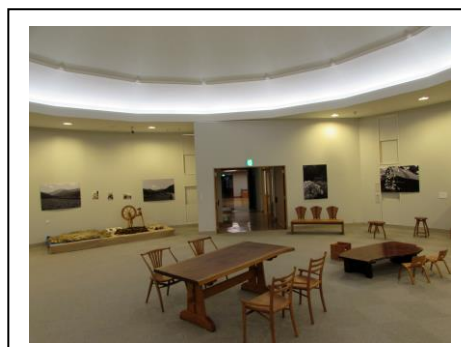
併せて、これまで製作した木工製品を中心に、作家の紹介と作品に込められた想いを載せた商品カタログ製作し、販売を進めていく。

また、村内作家の集まる機会を年4回設けていくことが決定した。ものづくりがさらに広まり、作家同士の協力体制を築き、交流する中から新しい企画を打ち出していきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【合同展会場風景】

【目標・ねらい】

- ①村産カラマツの「ブランド化」
- ②村総合戦略の柱である人口増対策の移住定住施策
- ③村産材・木工製品の商品化の検討

※自己評価【 A 】

【理由】計画どおり全ての事業を実施し予定を上回る効果を得た。

村内外からクラフト作家の紹介・問い合わせが寄せられており、また、作家同士の協力体制の構築が進んだ。